

令和7年4月1日～令和8年2月28日 現在

### ■事業結果

開館日数	282 日	展覧会	12 件	131 日	28,884 人
来館者総数	56,249 人	ワークショップ・講座	15 件	44 日	3,069 人
(前年度 46,574 人)		貸しギャラリー	22 件	232 日	14,117 人
		その他利用			10,179 人

### ■事業内訳

展覧会	令和7年度予定		実施状況 (予定は除く)		
	件数	日数	件数	日数	人数
企画展	5 件	87 日	7 件	97 日	11,589 人
共催展	7 件	48 日	6 件	40 日	17,295 人
その他事業	0 件	0 日	0 件	0 日	0 人
計	12 件	135 日	13 件	137 日	28,884 人

ワークショップ講座	令和7年度予定		実施状況 (予定は除く)		
	件数	日数	件数	日数	人数
ワークショップ	4 件	27 日	5 件	29 日	2,693 人
鑑賞講座	1 件	2 日	1 件	2 日	63 人
実技講座	3 件	4 日	3 件	4 日	72 人
企画展関連	5 件	8 日	6 件	9 日	241 人
計	13 件	41 日	15 件	44 日	3,069 人

貸しギャラリー	令和7年度予定		実施状況 (予定は除く)		
	件数	日数	件数	日数	人数
展示室A	11 件	71 日	12 件	81 日	9,793 人
展示室B	3 件	80 日	4 件	86 日	1,787 人
スタジオ	4 件	59 日	6 件	65 日	2,537 人
計	18 件	210 日	22 件	232 日	14,117 人

### ■展覧会内訳

事業名	開催日数	会期	来館者数
<b>企画展</b>			
1 オモチャのものがたり たぐちてるひこの世界	6 日	4月1日 ～ 4月6日	453 人
2 春の盆栽に出会う	8 日	4月12日 ～ 4月20日	809 人
3 こまむぐ展～木のおもちゃと遊びの世界～	10 日	4月26日 ～ 5月6日	3,389 人
4 Collecting a Sky-風景を渡る糸-	32 日	7月19日 ～ 8月24日	3,301 人
5 紡ぐ物語 青秀祐・木島孝文	28 日	10月4日 ～ 11月3日	1,811 人
6 アトリア×並木小学校「みんなで作るえのぐひっばレインボー」	4 日	11月6日 ～ 11月9日	624 人
7 アートなお正月展2026	9 日	1月9日 ～ 1月18日	1,202 人
	97 日		11,589 人
<b>共催展・連携事業</b>			
1 第19回川口市美術家協会選抜展	11 日	6月18日 ～ 6月29日	1,067 人
2 第42回川口市小・中・高校硬筆展覧会	5 日	7月2日 ～ 7月6日	7,185 人
3 第33回水道ポスターコンクール展示会	5 日	9月3日 ～ 9月7日	401 人
4 第58回川口市特別支援学級合同作品展	5 日	12月3日 ～ 12月7日	2,412 人
5 川口市小・中・高校書きぞめ展覧会	5 日	2月4日 ～ 2月8日	4,587 人
6 川口の図工美術まなび展	9 日	2月14日 ～ 2月23日	1,643 人
	40 日		17,295 人
合計	137 日		28,884 人

## ■概要

### 事業名

春の盆栽に出会う

### 会期

4月12日(土) ～ 4月20日(日) (8日間)

### 開館時間

10:00 ～ 18:00

### 観覧料

無料

### 来館者数

	809人(目標 1,000人)
内訳	高校生以下 145人
	18～40歳 278
	41～60歳 183人
	61歳以上 163人



## 出品作品

・盆栽 喜楽園による、松柏盆栽(赤松 樹齢 約250年、真柏 樹齢 約40年)や花もの・実もの(錦糸南天 樹齢 36年、花梨 樹齢 約100年)など多様な盆栽を前期18点、後期20点の計38点展示。

## ■目的、ねらい、効果・課題等

### 目的

2023年度の企画展「盆栽 BONSAI-川口の盆栽と安行の四百年-」や2024年度の常設展「旅する絵画」内での盆栽展示からの継続的な取り組みとして、川口の名産のひとつである盆栽の、アートとしての魅力を発信する。

### ねらい

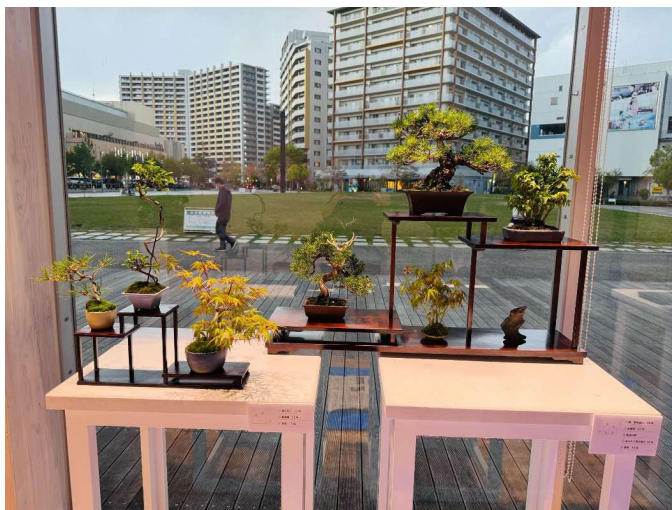
- ①屋外からも見通しのよいホワイエの構造を活かし、並木元町公園を訪れる人や通りがかりの人にも開かれた展示を行う。
- ②伝統的な松柏盆栽のほか、花もの等多様な盆栽を取り上げ、それぞれがもつ季節感や表情を通じて、盆栽の魅力を伝える。
- ③盆栽作りの体験講座と同時開催することで、年齢や経験を問わず、幅広い世代が盆栽に親しみをもち、楽しむ機会を創出する。

### 効果など

・川口の盆栽園「盆栽 喜楽園」による盆栽作品を、ホワイエに展示した。館外から作品が見え、無料で鑑賞ができることで、興味を持った小学生など若い世代の来場者が多く見られた。普段間近で見る機会の少ない盆栽がもつ豊かな表情を、それぞれの自由な視点で鑑賞する機会を創出することができた。

・伝統的な松柏盆栽から、かわいらしい花ものや小品盆栽までバリエーション豊かに展示することで、盆栽の表現の幅広さ・奥深さを紹介することができた。

・「盆栽をやってみたくなりました。」「盆栽に関する講習会を開いてほしい。」など、盆栽作品の鑑賞が体験講座への参加につながることを感じさせる意見を得ることができた。



## ■概要

### 事業名

こまむぐ展～木のおもちゃと遊びの世界～

### 会期

4月26日(土) ～ 5月6日(火) (10日間)

### 開館時間

10:00 ～ 18:00

### 観覧料

無料

### 来館者数

3,389人 (目標 3,000人)  
内訳) 高校生以下 1352人  
18～40歳 1,112人  
41～60歳 571人  
61歳以上 354人



### 出品作品

川口の木製玩具の工房「こまむぐ」の、代表的な作品「どんぐりころころ」「どんぐりきのこ」のほか、小松氏の初期作品やこまむぐの過去の作品などを多数展示。工房の歴史やコンセプトのパネルとともに紹介。

## ■目的、ねらい、効果・課題等

### 目的

- ・人出の多いゴールデンウィーク期間に、親子で気軽に鑑賞と体験を楽しめる企画を行う。
- ・ものづくりのまち・川口に生まれ、木型作りの職人からキャリアをスタートした作家・小松和人氏と、川口の木製玩具工房「こまむぐ」の存在を市民に周知する。

### ねらい

- ①ゴールデンウィークに木製玩具の展示と、実際のおもちゃで遊べるコーナーを設けることで、来場者や通りがかりの親子連れが鑑賞と体験を楽しむ機会を創出する。
- ②小松氏の初期の作品や、これまでにデザインしたこまむぐのおもちゃを展示することで、工房の歴史や製品にこめられた想いを作品を通して紹介する。

### 効果など

- ・期間中は多くの親子連れを中心に3000人を超える集客があった。来場者アンケートでは「子どもも触れるスペースがあり良かった」「どんぐりが転がるコトコトという音がこちよい展覧会でした」といった感想が寄せられ、五感を使った体験と鑑賞を楽しんでいる様子が伺えた。
- ・「工房に行ってみたかったので、展示で見られて嬉しい」といった意見もあり、駅や周辺施設からアクセスのよいアトリアで展示を行うことで、こまむぐを初めて知る人や、興味はあったが実物を見たことがない人に、作品にふれる機会を提供することができた。



## ■概要

### 事業名

Collecting a Sky-風景を渡る糸-

### 会期

7月19日(土) ~ 8月24日(日) (32日間)

### 開館時間

10:00 ~ 18:00

### 観覧料

無料

### 来館者数

3,301人 (目標 3,000人)

内訳) 高校生以下 824人

18~40歳 1232人

41~60歳 755人

61歳以上 490人



## 出品作品

- ・川口市を拠点に、日米芸術家交換プログラムの一環として制作された、テキスタイル作家の小林万里子氏とアンドレア・マイヤーズ氏の共同作品「予兆-沈黙の春を超えて-」の制作プロセスやコンセプトを、映像と写真、パネルで紹介。
- ・各作家個人の作品も、それぞれ6点ずつ展示。

## ■目的、ねらい、効果・課題等

### 目的

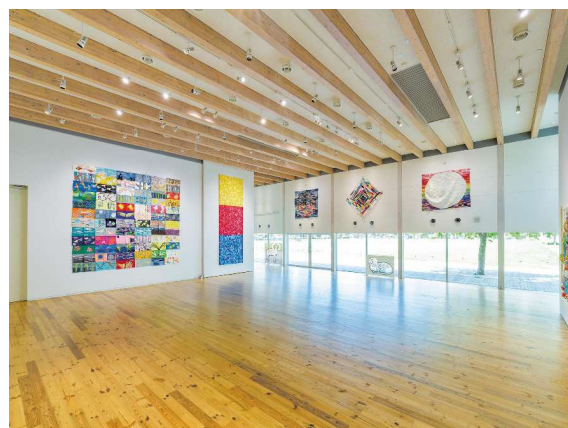
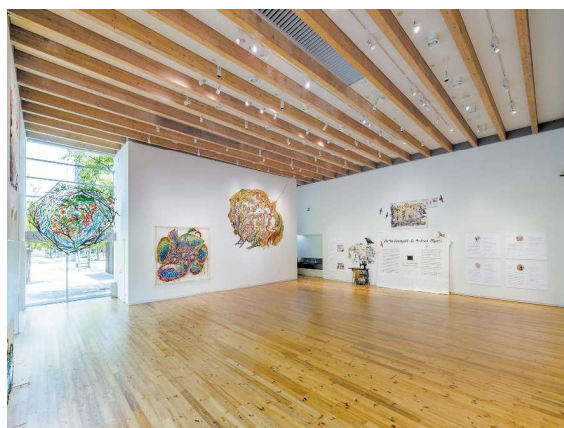
- ・川口市を拠点に実施された、日米芸術家交換プログラムの様子を紹介し、地域の国際的な取り組みやアートとの関わりを周知する。
- ・テキスタイル作品の美しさや質感の面白さ、その多様な表現の奥深さを示す。

### ねらい

- ①海外の作家との共同制作について取り上げることで、川口を拠点に活動する作家のグローバルな取り組みを紹介する。
- ②アトリアの空間を活かして両作家の作品を展示することで、テキスタイルアートの魅力を伝えるとともに、制作背景や作家の想いをテキストで紹介し、より解像度の高い鑑賞を促す。
- ③共同制作のスタジオがある川口市芝地区の繊維工場が多い地域性を取り上げ、地域の歴史とアートとの関わりを紹介する。

### 効果など

- ・共同制作の様子だけでなく、両氏それぞれの作品と、共同制作への想いをテキストで展示することで、コラボレーションによるお互いの作風への影響や、色使いや素材といった表現の違いがわかりやすい構成になった。スタジオでの滞在制作や、関西万博での完成作品の展示風景も写真や動画で紹介し、川口から世界へアートが発信されていく過程を示すことができた。
- ・来場者からは、「環境問題をアートで美しく表現していると感じた。」「テキスタイルという素材がどれだけ力強く熱のある素材か、肌で感じ鳥肌が立ちました。」「一つ一つのモチーフの意味を受け止め大切に家に持ち帰りたいと思いました。」など、熱量の高い感想が数多く寄せられた。展示を通して、来場者がテキスタイルアートの魅力や作家の想いをたしかに受け取っていることが伺えた。
- ・「川口でステキな作品が生まれていると知り良かったです」「芝地区の産業など、川口市内に住んでいても知らないことを知れていい機会になりました」との意見もあり、市民が地域への愛着を深めるきっかけを創出することができた。



## ■概要

### 事業名

紡ぐ物語(前期)木島孝文展「A.R.#99X」・(後期)青秀祐展「DUMMIES」

### 会期

10月4日(土) ～ 11月3日(月) (28日間)

### 開館時間

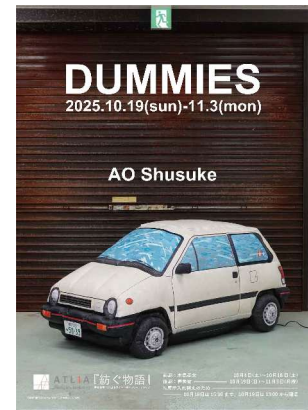
10:00 ～ 18:00

### 観覧料

無料

### 来館者数

1,811人	(目標 1,000人)
内訳	高校生以下 462人
	18～40歳 696人
	41～60歳 406人
	61歳以上 247人



### 出品作品

- ・[前期]木島孝文展「A.R.#99X」: 木島氏が長年描き続けてきた、99枚の絵から構成されるおよそ100mの大型インスタレーション作品《A.R.#99X》シリーズを一堂に展示。
- ・[後期]青秀祐展「DUMMIES」: 青氏の思い入れのあるモチーフを模したダミーバルーンの商品11点。車を実寸大や1/2スケールで表現した「DUMMIES "CITY"」シリーズや、プラモデルのパッケージを模した「DUMMIES HG48SFJ-P-001」などを展示。

## ■目的、ねらい、効果・課題等

### 目的

- ・学生時代は同じ日本画に在籍しながら、現在は異なるアプローチで「記憶」をテーマに制作を続ける二人の作家、木島孝文と青秀祐を紹介する。
- ・日本画を出発点に、素材や技法にとらわれずに制作する二人の作品を通して、現代美術の多様性を提示する。

### ねらい

- ①個展形式にすることで、見ごたえのある量と質で両作家を紹介する。
- ②外から見通しのよい空間を活かして展示することで、美術に親しみのない新規層にも鑑賞の機会を創出する。
- ③作家が在廊して来場者へ作品解説を行うことで、難しいと思われがちな現代美術作品の鑑賞ハードルを下げる。

### 効果など

- ・木島氏の展示は、大作「A.R.#99X」シリーズを一堂に展示する全国で初めての機会となり、青氏の展示では、関東圏で初出品の作品の展示を実現した。
- ・木島氏の作品の圧倒的なスケールの大きさや、青氏の親しみやすい車をモチーフにした作品など、ガラス越しに見える展示のようすに興味を持った親子連れが数多く訪れた。両氏がこれまでに展示をしてきた画廊やギャラリーとは異なる客層に、作家を周知することができた。
- ・木島氏の展示では、重厚感のある作品のなかに隠れたうさぎや花のモチーフを探して楽しむ子どもも多く、難解と思われがちな現代美術作品に、親しみを持って鑑賞を楽しむようすが見受けられた。
- ・青氏の展示では、美術学校の学生が集団で見学を訪れ、作家と学生の深い交流の機会を創出することができた。



## ■概要

### 事業名

アトリア×並木小学校「みんなでつくるえのぐひっぱレインボー」

### 会期

11月6日(木) ～ 11月9日(日) (4日間)

### 開館時間

10:00 ～ 18:00

### 観覧料

無料

### 来館者数

624人 (目標 500人)

内訳	高校生以下	267人
	18～40歳	256人
	41～60歳	54人
	61歳以上	47人



### 出品作品

- ・令和7年10月31日に、川口市立並木小学校で2年生約100名を対象に実施した連携授業の成果作品。(講師: 玉掛由美子。アートワークセラピスト、∞工房主宰)
- ・幅90cm、長さ10mの画用紙にヘラで絵の具をのばして描いた大作10点を展示。

## ■目的、ねらい、効果・課題等

### 目的

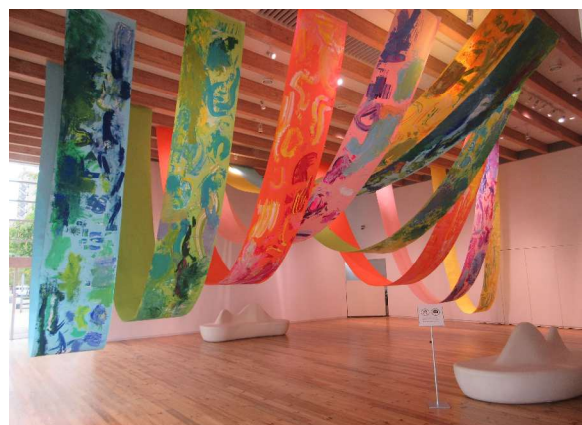
- ・連携授業で制作した成果物を展示する。
- ・アトリアと学校との取り組みについて、地域に広く周知する。

### ねらい

- ・授業と展示を通して参加児童にアトリアに親しみを持ってもらい、展覧会への来場や講座参加につなげることで、美術への興味・関心を育てる。地域との連携を強化する。
- ・授業のみでなく、成果物をアトリアで展示することで、参加した児童に作品が展示される達成感を提供する。
- ・学校との取り組みを紹介することで、来場者のメイン層である小学生や親子連れに、より施設に興味・関心をもってもらう。

### 効果など

- ・会場では、授業に参加した児童が保護者と一緒に来場し、作品の前で写真を撮る姿が多数見られた。授業の内容を楽し気に話しながら鑑賞するようすも見られ、当初のねらいを達成することができた。
- ・来場者アンケートには「飯仲小学校でもやってほしいです。」といった感想もあり、他校の児童や保護者からも高い関心が寄せられていることがうかがえた。
- ・作品を吊るして、スタジオの広さと天井高を活かした展示をすることで、10mという作品の大きさや、児童たちののびのびとした表現を味わえる展示になった。来場者からは、「絵の具が塗られている所や、逆に塗られていない所それぞれが良いデザインとして作品になってよかった。ヘラだけではなく、手形もあったのが表現の広さを感じました。」といった感想が寄せられた。
- ・授業と展覧会についてFM川口の取材があり、11月7日(金)に放送された。市内からも関心が寄せられていることがうかがえた。



■概要

事業名

アートなお正月展2026

会期

1月9日(金) ～ 1月18日(日) (9日間)

開館時間

10:00 ～ 18:00

観覧料

無料

来館者数

1,202人	(目標 1,000人)
内訳	
高校生以下	398人
18～40歳	456人
41～60歳	180人
61歳以上	168人



出品作品

- ・公募年賀状作品 390点(参考:昨年度373点、令和4年度413点 受付期間:11月20日～12月25日必着)
- ・2025年12月に実施した石膏体験講座と版画講座の参加者作品(馬をモチーフにした石膏の立体作品と、干支や好きなモチーフをテーマにした版画作品)。
- ・A2サイズの年賀状の形をした体験型クイズ(内容:干支や年賀状、正月文化)。8問中4問正解で記念シール贈呈。
- ・スタジオでは、会期中に実施した関連ワークショップ「墨で描いて作ろう!大きな絵馬カルタ」の参加者作品を展示。
- ・ホワイエでは、絵馬や干支の馬についてパネルで紹介した。

■目的、ねらい、効果・課題等

目的

- ・子どもから大人まで誰もが気軽に出品する事のできる市民参加型の展覧会を開催する。
- ・アトリア開館から毎年開催している「アートな年賀状展」を、内容を充実させてリニューアルする。

ねらい

- ①年賀状の展示を通して、はがき大の作品を作る楽しさや日本の正月文化にふれる機会を提供する。応募者全員の年賀状を一堂に展示し、作品の優劣なく出品や鑑賞を楽しめる展覧会をめざす。
- ②幅広い年齢層に、暮らしの中に息づく日本の風習と手づくりならではの味わいを伝える。
- ③出品数が減少傾向にある年賀状を講座の参加者作品と一緒に展示することで、展示の充実度を維持した事業継続を図る。

効果など

- ・年賀状の出品数は前年の473点から490点へとわずかに増加した。今年度は市内掲示板での広報を減らし、代わりにInstagramで作品募集の広告を掲出した。結果、個人出品では県外からの出品が8点から28点へ増加し、気軽に参加できる展示の場として需要がある事を感じられた。例年参加している団体からの出品も多く、今年も市民の作品発表の機会を創出することができた。
- ・昨年度好評だった年賀状型のクイズを今年も設置した。今年も記念シールを179人に渡し、子どもを中心に多くの来場者が参加した。
- ・講座の参加者作品の展示を増やしたことで、市民の新たな出品機会を創出するとともに、館の事業についても周知を図ることができた。立体作品の展示があることで、展示室の中央の空間も使い、立体感のある構成を実現できた。
- ・来場者からも「ワークショップも楽しそう」「年賀状を出す方が減りましたが、立体など様々な作品を楽しむことができました。」など、肯定的な意見が寄せられ、今後の事業の継続に繋がる展覧会となった。



## アートギャラリー 共催展

### 事業名

第19回川口市美術家協会選抜展

### 会期

6月18日(水) ～ 6月29日(日) (11日間)

### 主催

川口市美術家協会

### 出品

96点 / 川口市美術家協会会員

### 来館者数

1,067人 (前回 1,121人)

内訳)	高校生以下	75名	41～60歳	369名
	18～40歳	128名	61歳以上	495名



### 事業名

第42回川口市小・中・高校硬筆展覧会

### 会期

7月2日(水) ～ 7月6日(日) (5日間)

### 主催

川口市教育研究会書写研究部

### 出品

1600点以上 / 市内小・中・高校生

### 来館者数

7,185人 (前年度 6,335人)

内訳)	高校生以下	2,847人	41～60歳	1,668人
	18～40歳	1,828人	61歳以上	842人



### 事業名

令和7年度(第33回)水道ポスターコンクール展示会

### 会期

9月3日(水) ～ 9月7日(日) (5日間)

### 主催

川口市上下水道局

### 出品

1,797点 / 市内小学4年生

### 来館者数

401人 (前年度 367人)

内訳)	高校生以下	78人	41～60歳	94人
	18～40歳	81人	61歳以上	148人



## アートギャラリー 共催展

### 事業名

第58回川口市特別支援学級合同作品展

### 会期

12月3日(水) ～ 12月7日(日) (5日間)

### 主催

川口市立小中学校特別支援学級設置校長会、川口市教育委員会

### 出品

1,544点 / 市内小学校39校・中学校18校

### 来館者数

2,412人 (前年度 2,174人)

内訳) 高校生以下 1,080人 41～60歳 415人  
18～40歳 758人 61歳以上 159人



### 事業名

川口市小・中・高校書きぞめ展覧会

### 会期

2月4日(水) ～ 2月8日(日) (5日間)

### 主催

川口市教育研究会 書写研究部

### 出品

1,320点 / 市内小・中・高校生

### 来館者数

4,587人 (前年度 5,018人)

内訳) 高校生以下 1,675人 41～60歳 921人  
18～40歳 1,421人 61歳以上 570人



### 事業名

川口の図工美術まなび展

### 会期

2月14日(土) ～ 2月23日(月) (9日間)

### 主催

川口市教育委員会

### 出品

261点 / 市内小・中・高校生

### 来館者数

1,643人 (前年度 1,136人)

内訳) 高校生以下 583人 41～60歳 379人  
18～40歳 468人 61歳以上 213人

